

vol.51

Japanese Red Cross Fukuoka Hospital

Cross Heart

福岡赤十字病院 広報誌

福岡赤十字病院 広報誌 Cross Heart 2022.4 春号 vol.51

病院管理者 【院長】中房祐司 【副院長】青柳邦彦・泊眞一・永井英司・石丸敏之・平川克哉 【事務部長】田中秀隆 【看護部長】松永由紀子
2022年4月発行 第51号 福岡赤十字病院企画推進課 TEL:0570-03-1211



福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○新患及び再来 ●予約のみ ▲午後再来(予約のみ) ※再来は原則予約制です

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野・備考	職名
総合診療科	川本 徹				○		内科一般	副部長
	総診当番医①	○	○	○	○		※当番医：内科系医師による交替制	
	総診当番医②	○	○	○	○			
消化器内科	青柳 邦彦	▲	○	▲				副院長
	平川 克哉	○	▲					副院長
	工藤 哲司	▲	○					副部長
	野村 亜貴子	▲					消化管(食道・胃・小腸・大腸)	
	和晉 博信	▲			○			
	西田 美沙子	○			▲			
	岡村 活揮			○	▲			
	中尾 淳	○		▲				
腎臓内科	徳本 正憲	▲		○				部長
	中井 健太郎	○	▲					副部長
	中川 兼康	▲	○					
	原 雅俊			○			腎臓	
	宿理 朋哉		▲	○				
	井上 めぐみ	▲						
	原 裕二郎							
糖尿病・代謝・内分泌内科	佐々木 伸浩		○		○			部長
	井元 博文	○		▲	○			副部長
	於久 真由美	●			●			
	原 功哉		●		●		糖尿病・代謝、内分泌、生活習慣病	
	東木 孝太	●		●				
	糖尿病担当医		●		●		※内分泌疾患は火・水・金のみ	
	内分泌担当医	○	○	○	○			
	中川 瑞穂	▲	▲	▲	▲			
循環器内科	向井 靖	○	○	○				循環器
	松川 龍一	○		▲				
	松浦 広英	○	▲					
	中野 正紹		○	▲				
	徳留 正毅	○						
	河合 俊輔	○						
	岡原 有秀			○				
	岡部 浩祐			○				
	佐田 改司	▲						
	木佐貫 洋志							
	原 彰乃							
	古賀 瑛一							
	糸長 潤平							
高血圧内科	大坪 俊夫	○					高血圧	部長
	古山 和人	○		○				部長
	河口 知允	○		○				部長
	木村 信二	○					呼吸器一般	
	大後 德彦							
	犬塚 優							
	中島 和輝							
	西澤 新也	○		○				
	岩下 英之	○	○	○				
	東 基隆							
	徳重 裕陽							
血液・腫瘍内科	谷本 一樹	○		○				
	平安山 英穂			○			血液疾患一般	
	河野 一郎	○					固形腫瘍の化学療法	
	次郎丸 高志							
脳神経内科	北山 次郎	○			▲			
	緒方 利安	▲		○				
	岡田 良也		▲	○			脳卒中・神経疾患	
	佐原 篤之	○			▲			
	山中 圭	▲		○				
	井上 靖	▲	○	○	○			
	田中 淳	○		●	○		膠原病	
	高月 健作	▲						
感染症内科	石丸 敏之	○		○	○		感染症一般	副院長
	渡部 達						※金は午後のみ(13時～15時受付)	
外科	中房 祐司	○						院長
	永井 英司			○				副院長
	木山 健太郎	○	▲					交番制
	小島 雅之	○		○				
	上田 純二							
	井上 重隆	○		○				
	小倉 康裕	○		○	○			
	三好 圭							
	鶴田 千津			○	○		一般外科	
	安井 隆晴	○		▲			消化器外科、肝胆胰外科	
	寺坂 壮史			○			乳腺・内分泌外科	
	松田 圭央	○	▲	○			呼吸器外科	
	服部 正見	○	▲	○	○		腹腔鏡下・胸腔鏡下手術	
	松永 壮人	○		▲	○		腎移植、腎不全外科	
	森 瞳美	○	○	○	▲		ERCP、PTCD、EST	
	藤本 崇聰	○	○					
	松吉 隆仁	▲	▲	▲	▲			
	三測 晴香	▲		▲	▲			
	清水 透	▲		▲	▲			
(緩和)	山崎 章生							
心臓血管外科	小江 雄弘	○	○	○	○		心臓外科、大動脈瘤	副院長
	恩塚 龍士	▲		▲	▲		血管外科	副院長
	綾 仁	○			○		脳梗塞	部長
	吉岡 紗努	▲		手術	○		脳血管障害(脳卒中)	部長
	満田 尚樹	○		▲	▲			
	吉永 泰介	▲	▲					
脳神経外科	綾 仁	○			○			

●受付時間 8時10分～11時00分 (診療開始8時40分)

※診療科の備考欄に特に記載のない場合に限ります。

●急患診療体制

※救急車や医療機関からの紹介患者の受入れは、24時間体制で対応いたします。

内科系	平 日	17時00分～23時00分
	土・日・祝日	8時30分～23時00分
小児科	平日(祝日除く)	17時00分～19時30分
	土(祝日除く)	9時00分～17時00分

●休診日 土・日・祝・年末年始 (12/29～1/3)

※出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎0570-03-1211



福岡赤十字病院

病院の理念

信頼と調和に基づく最良の医療
～地域を尊重、世界を視野に～

基本方針

- 質の高い安全な医療
- 救急医療
- 国内外の医療救援活動
- 教育・研修・研鑽
- 患者・職員満足度の向上
- 地域連携

令和4年度 入社式を行いました

今年度は、医師73人、看護師56人を含む152人が入社いたしました。

新入職員は数日オリエンテーションを受けたのち、それぞれの部署で業務に励んでいます。

新入職員のフレッシュなパワーを加え、より一層地域の皆さんに貢献できるよう努めてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします！



就任部長のご挨拶

看護部長 佐藤 章子

このたび看護部長を拝命いたしました。

看護部は、開設以来70年の歴史において、赤十字の基本原則「人道」の具現化を基軸とし、一人ひとりを尊重した質の高い医療・看護を提供することを使命としてまいりました。これまでに築いてきた看護を継承し、さらに発展させていくことに尽力していく所存です。

また、2040年問題、新興感染症の不透明さなどへの対応には、地域の皆様との連携を引き続き強めていくことは不可欠となっております。院内の多職種連携を基盤に、患者さん・ご家族を含む地域をひとつのチームとして、「地域チーム医療」を推進していきたいと思っております。

そのためには、看護の専門性が発揮できる人材の育成と活躍できる仕組みづくりの再構築により、看護師が「地域チーム医療」におけるキーパーソンとしての役割が担えるように取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



事務部長 平田 秀政

このたび2022年4月1日付けで事務部長を拝命いたしました。ここに謹んでご挨拶を申し上げます。

政府が新型コロナウイルス対応の緊急事態宣言を初めて発令してから2年となりました。

今もなお終息の見えない新型コロナウイルスの影響や、診療報酬改定・病院機能分化等の医療政策により年々厳しさを増す医療環境において、これから福岡赤十字病院は、「信頼と調和に基づく最良の医療～地域を尊重、世界を視野に」という理念をしっかりと実践しながら、次世代につながる進化を遂げていかなければなりません。「必要なときに必要な医療を提供する」ための、地域医療支援病院としての役割をしっかりと果たすことが求められていると考えております。この地域の医療を守り抜くために、福岡赤十字病院職員一同は、一丸となって努力と研鑽を積んでまいります。そして、地域住民の皆様から選ばれる、そして同時に、地域の医療従事者の皆様からも選ばれる“強い”福岡赤十字病院を築いていくために努力してまいりますので、今後ともご指導とご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。



Greetings of moving

新任部長のご挨拶

呼吸器内科 古山 和人



当院に呼吸器内科が開設されて10年が経過しました。呼吸器内科では、検診での胸部異常陰影の精査、肺がんや肺炎の診療を中心として、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎など呼吸器疾患全般にわたって診療を行っています。特に肺がん領域では、近年は免疫チェックポイント阻害薬や遺伝子検査など様々な研究が進められており、医療の進歩を日々感じながら診療にあたっております。一方で外来診療においては常にCOVID-19の可能性を念頭に置かねばならず、来院される方々にはいろいろとご迷惑をおかけするものもあるかと思われます。当科のこれまでの診療方針を踏襲しつつ、患者様、ご家族にも安心して治療を受けて頂けるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

耳鼻咽喉科 若崎 高裕



私は、2000年に九州大学医学部を卒業し、耳鼻咽喉及び頭頸部領域の診療に携わり20年になります。頭頸部外科という鼻腔・口腔・咽頭・喉頭・頸部領域の腫瘍を主に治療対象とする分野を専門としています。当院の耳鼻咽喉科は、2017年より一時非常勤のみの体制となり、主に院内対応のみ行っていましたが、2019年4月より一般耳鼻科診療を再開しました。加療する患者さんの数は増加傾向で、地域の中のニーズを実感しています。聴覚、嗅覚、味覚をはじめとするQOLに関する疾患とともに、頭頸部腫瘍・頭頸部がんに対応できる体制を整えていきます。当院は診療科の充実している総合病院ですので、境界領域の診療も積極的に行いややすい体制にありますし、他院で加療が行いにくい合併症のある患者さんへの対応も可能な場合があると思います。地域の中で役に立てる診療科であることを心がけて対応したいとおもいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

整形外科 池村 聰



平成13年九州大学整形外科学教室入局後20年の大半を関節疾患の治療に携わってきました。変形性関節症や特発性大腿骨頭壞死症などに対して、関節温存手術(骨切り術)や人工関節置換術、内視鏡手術などを実施してまいりました。「痛みなく動ける」ことの素晴らしさを患者さんに教えていただきました。

また、超高齢化社会において、骨粗鬆症を起因とする脊椎、四肢長管骨の骨折治療はADL低下を予防するために重要であり、整形外科の果たすべき役割は大きいと考えています。術後のリハビリや骨粗鬆症に対する薬物治療など、急性期病院である当院だけでは治療が完結できないことがあります。地域の先生方との連携をこれまで以上に密にして、患者さんの満足度の高い治療が行えるよう、また健康寿命の延伸に貢献できるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

脳神経内科 緒方 利安



2022年4月に脳神経内科第二部長として赴任してまいりました、緒方利安と申します。平成9年卒業後、九州大学病態機能内科学に所属しており、これまで脳卒中の臨床を中心にキャリアを積んできました。私は海外留学や前任の福岡大学病院などでエビデンスを基に、考察を重視した脳血管障害の臨床を、深く勉強してきました。また、頸動脈エコーや経頭蓋カラードプラ、脳卒中患者の経食道エコー検査などの神経超音波が私の専門であり、それを用いての脳血管障害の臨床研究をこれまで行ってきました。当院は脳卒中患者が多く、私の持ち味を十分に発揮できるものと自負しております。どうぞよろしくお願いします。

Greetings of moving

退任のご挨拶



看護部長 松永 由紀子

看護部長を拝命し10年が経過し、本年3月31日をもちまして退職することになりました。在職中は、地域の連携施設の先生方、看護職員をはじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。ここより感謝申し上げます。福岡赤十字病院は平成25年新築から約十年が経過しました。病院は地域医療支援病院として救急医療体制を強化しつつ、災害拠点病院として、赤十字の使命である災害救護活動に積極的に救護班を派遣してまいりました。また、この3年間は新型コロナウイルス感染症発生に伴い感染症指定病院・重点支援病院として全職員が一致団結し懸命に取り組み、地域医療に貢献してまいりました。看護部門としても地域の感染状況に合わせて主体的に、迅速に、柔軟に対応し役割を果たしてきたことを誇りに思っております。

地域包括ケアシステムが促進される中、看護職には院内だけでなく地域に出向き看護の専門性を發揮することが求められております。看護部では、「地域ともっとクロス活動」を推進しており、地域を視野に入れたチーム医療の実践に力を入れております。これからも地域の皆様と連携・協働しながら活動できる看護師を育成してまいりますので、専門看護師・認定看護師・特定行為に係る看護師等を是非ご活用ください。

今後とも福岡赤十字病院を宜しくお願い申し上げます。誠にありがとうございました。

事務部長 田中 秀隆



コロナ禍の中診療報酬改定が実施され、皆さま方におかれましては、大変慌ただしい時期と拝察いたします。

さて、私こそ 去る3月末日をもちまして定年退職いたしました。日本赤十字社に入職し40年、そのうち福岡赤十字病院で大部分の29年間を過ごし、この間の勤務を大過なく終えられたのは、地域医療機関、また多くの関係者の皆さまのご理解、ご支援に支えられてのことと心から感謝申し上げます。

少子高齢化等により国の医療費抑制策が強力に推し進められ、病院単独ではなく地域連携を基本とした役割が改めて強く求められるようになり、医師の働き方改革、チーム医療、そして新型コロナウイルス感染症対応が重なる中ではありますが、今後更なる地域医療機関との連携・交流が益々発展、充実していくことを切に願っております。

引き続き福岡赤十字病院にご厚誼を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

最後になりますが、連携医療機関の皆さまのご健勝とご発展を念じ上げまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

今まで本当にありがとうございました。

肝臓内科部長 早田 哲郎



この度、2022年3月末をもって福岡赤十字病院を退職することになりました。2016年4月に赴任した際には重責に気が引き締まりましたが、それ以来6年の間、大変お世話になりました。地域の中核病院の肝臓内科として、ウイルス性慢性肝炎、急性肝障害、肝硬変の合併症である食道靜脈瘤や難治性腹水、肝癌などの肝疾患に加え、胆・膵系の急性疾患など、急患から最新の治療まで、幅広く、かつ多くの診療に当たらせて頂きました。また、学会報告や論文にするような貴重な症例も経験させて頂きました。急患が続いて心身共に疲れ果てるようなこともありましたが、肝臓内科の仲間や他科の先生と一緒に乗り越えた後には充実感もあり、連帯感も強くなって、充実した時間を過ごさせて頂いたと思っています。

今後も福岡市内の病院に勤務しますので、いろんなところでお会いすることもあるかと思います。その際には今まで同様、どうかよろしくお願いします。福岡赤十字病院で得たことを活かしてまだまだ頑張りたいと思います。本当に有難うございました。

DaVinciによる結腸がん手術を始めました。



直腸がんに対しては平成30年からロボット支援下手術が公的保険適用となり、当院でも多数の手術を行ってきました。令和4年度の診療報酬改定にて直腸以外の部位に発生した大腸がんにもロボット支援下手術が承認され、当院でも治療を開始しました。従来、本領域での手術の90%は腹腔鏡で行っておりましたが、今後は、患者さんに負担の少ない低侵襲な手術の新たな選択肢となります。今後も、地域の皆様に安心して、信頼と調和に基づく最良の医療を提供すべく取り組んでいきます。



パレスチナ赤新月社医療支援事業

パレスチナ赤新月社医療支援事業として、レバノン共和国に当院の看護師が派遣されました。

国際派遣看護師が 福岡県知事を表敬訪問しました



出発前に福岡県知事を表敬訪問し
激励のお言葉をいただきました。

この後4月4日にレバノン共和国へ出発し
現在 医療支援活動を行っています。

国際看護師派遣

今回派遣される前澤看護師は
初めての海外派遣となります。

出発式では、集まった皆さんから
温かい激励のお言葉をいただきました。

現在も活動中で、9月に帰国予定です。





患者サポートセンター、この1年を振り返って



入退院支援
について

病気によって生じる様々な不安や悩みについて相談をお受けし、入院時に安心して治療を受けていただけるように多職種で支援しています。薬剤管理については、入院前にお薬手帳をもとに薬剤アレルギーや薬剤管理方法などを把握し、患者さんの状況に合わせてかかりつけ薬局と情報共有及び連携を図っています。患者さん・ご家族からは「丁寧な説明でわかりやすかった」「入院費が気になっていたので聞けて良かった」「食事管理がわかった」などの声をいただいており、安心・安全な医療に繋がっていると考えています。

退院支援では、多職種と退院支援カンファレンスを開催し、在宅サービスの導入、社会保障制度の活用調整、そして生活指導などを検討し、患者さん・ご家族が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを送られるよう支援しています。

今年度は、新たに以下のことを取り組んできました。

コロナ対応で一般病床数が制限された運営体制のなか、入退院支援課の病床管理係と協働して入退院の隙間となっている空床を小まめに確認、活用し、できるだけ紹介患者さんのお断りがないよう努めています。

また、診療部の協力も得て、迅速かつ確実に紹介元あるいはかかりつけの先生へ診療情報提供書をお送りするよう取り組んでいます。

登録医の先生方には当院の機器・設備(高額医療機器共同利用としてCT、MRI、RI、胃カメラ、エコー等)をご利用いただいております。「検査予約が埋まっていて希望日に予約が取れないことがあった」とのご意見がありましたので、極力早い時期(CTは7~10日以内)に予約が取れるようにしています。

今後とも福岡赤十字病院 患者サポートセンターをよろしくお願ひいたします。

医療連携
について

当院は「地域に信頼される最善の医療を提供する」という基本理念にもとづき、2021年4月より患者サポートセンターを開設しています。

地域とともに! 登録医紹介

医療法人 本村内科医院

Q クリニックの診療内容・特色

九州大学腎臓内科および福岡赤十字病院、聖マリア病院等で腎臓内科医として勤務し、1999年11月に当地に開業しました。勤務医時代の経験を活かし、主に腎臓病の患者さんを対象として、一般外来診療と外来での血液透析治療を行っています。

外来血液透析は十分な透析量を確保するために1回5時間の透析時間を原則とし、透析液の清浄化に取り組み、患者さんの血圧、体重、尿毒素、カリウム、カルシウム、リンなどの無機質の管理、腎性貧血の治療などを細かく行っております。また腎不全という病気には多くの合併症が伴うことが多いので、当院で対応できない問題については、福岡赤十字病院の各科をはじめ、多くの関連病院、近隣の医師会の開業医の先生にもご協力いただいております。また、一般外来では健康診断での尿や腎機能の異常などについてのご相談をお受けし診療、他院への紹介等を行っております。

Q 地域の皆様へ一言

当院では地域の腎不全患者さんを対象として月水金の午前および夜間、火木土の昼間に血液透析を行っております。西鉄白木原駅、JR大野城駅が近く交通の便は良いのですが、自家用車での通院をご希望の方には無料で十分な駐車スペースを確保しております。送迎が必要な場合は専門の方に業務を委託してご利用頂いております。また、希望される方には透析に適したお食事(有料)を院内で調理して提供しております。

当院には経験豊富なスタッフが多く、血液透析生活を続けていく上で生じる様々な問題を解決あるいは緩和する上でお役に立てると思っています。

インターネット上に当院のウェブサイト(<https://5871055.com>)を開いておりますので、お気軽にご覧頂ければ幸いです。



院長 本村 謙一 先生
(日本内科学会認定医)
(日本腎臓学会認定専門医)
(日本透析医学会専門医)

住所 〒816-0943 福岡県大野城市白木原1丁目11-16

TEL 092-587-1055

透析 血液透析40床(2階20床/3階20床)

診療時間 血液透析

月・水・金 9:00~22:00

火・木・土 9:00~15:00

内科(腎臓疾患等)

月～土 10:00~12:00

*午後の診療をご希望の方は、お電話にてお問合せ下さい。

薬院内科循環器クリニック

Q クリニックの診療内容・特色

当院は2010年に開院以来、福岡赤十字病院、福岡赤十字訪問看護ステーションとともに大変お世話になっております。我々のクリニックは薬院駅のすぐお隣に、医科歯科合わせて6医療機関が入るビルテナントにあります。他のクリニックの先生とは先輩後輩であったり、医師会の理事などで交流があり、密に連携しながら診療を行っています。かかりつけの患者さんがアニサキス(食中毒の原因となる寄生虫)で来たら、すぐに消化器科で診てもらうというような感じです。当院は循環器専門医の常勤3名を含む4名の常勤医と、循環器専門医の非常勤医5名で外来と訪問診療を行っています。特徴としては在宅で強心剤のカテーテルアントリミッターマルチ期の診療も行っています。ALSなどの神経難病や、呼吸器のついた重症心身障害児の方も診ています。年間のお看取りは100名ほどです。永眠や入院される方も多い、またご紹介頂く方も多いので、さながら在宅医療の急性期病院の様な感じです。夕方に今からターミナルの方の初回診察といったような依頼もあります。外来では念願だった小スペースで設置できるCTが導入されたため、固形がんや呼吸器疾患、大血管の評価など疾患が可視化できるようになり、診断の精度が向上しました。毎月数名の方の新規の固形がんが見つけられています。日赤さんの特徴は訪問看護、入院と外来と地域医療が切れ間なく連携でき、患者さんやご家族へのフォローアップ体制が包括的に実践されていることだと感じています。地域完結型医療の先端をいっていると思います。

Q 地域の皆様へ一言

今回の新興感染症は医療機関にとっても大きな苦労を強いられました。当院も感染リスクなどと闘いながら、多い日は40名以上の発熱者の方と向き合いました。往診中の患者さんがコロナで呼吸不全になってしまっても、搬送先がなかなか見つからないこともあります。発熱された患者さんに対して当院ではテントなどの設営ができず、バスを置き発熱者と通常患者さんのゾーニングを行ないました。地域医療の連携は不可欠だと考え、現在、Pubcare(パブケア)というICTサービスで医療連携をDX(デジタルトランスフォーメーション)したいと考え取り組んでいます。



院長 村岡 聰一 先生
(日本循環器学会認定循環器専門医)
(日本内科学会認定内科医)

住所 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-6-12
八千代ビルYA55 2階

TEL 092-738-0123

診療科目 内科、循環器内科

診療時間 月・火・水・木・金 9:00~13:00 14:00~19:00
(最終受付12:45) (最終受付18:45)

土 9:00~13:00
(最終受付12:45)

休診日 日曜・祝祭日